

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○		○	○	○	○	○			

企業の概要

企業・団体名	ツアン・システム株式会社	本社所在地	埼玉県
業種	卸売業、小売業	総従業員数	1名
事業概要	高度管理医療機器販売・貸与業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク規則
テレワーク担当部署	経理
テレワーク対象者	
実施者数	1名+代表取締役
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2021年1月 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言でテレワークを導入する。従来よりMicrosoft office 365®を利用していただけ、スムーズに初期導入・活用できた。
埼玉県の協力を得てテレワーク規則の作成を促され、左記未登記ながら実施している。

テレワークの概要・特徴

概要と特徴テレワーク対象者は、代表取締役をはじめ全従業員(1名)で特にモバイルワークを重視した体制での実施。

テレワークの活用自由な勤務時間を設定する。就業規則(登記済)の勤務時間を拡大・上回りフレックスタイム制度と同等の勤務体制を実施できるようになったことにより業務の分割が可能となり作業効率が上がった。

今後の改善点在宅勤務時の体制の充実を図ること。管理体制の強化と、勤務時間の把握の為にICT導入。

勤務時間内での取引先メーカー主催Webセミナーに積極的に参加し、既顧客・新規顧客に対して新しい情報の提供等を在宅勤務で積極的に発信していく。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- テレワーク導入後、有給休暇取得率が上がった。(0%→100f%)
- コロナワクチン接種や病院への診察時にも対応できることにより今後の健康経営®につながるようにモバイルワーキングが可能となった。
- 不慣れなWebツールに抵抗感が減っていき、スマートフォンの使用やグループウェアも使用頻度上昇とともに積極的に活用できるようになった。

【改善点】

タイムカード管理の緩慢等や当社の勤務中の中抜けの基準の取扱いを明確に設定して時間管理を行っていく。(現状、遅刻や残業の単位が不明確な状態であるため)